

# 図画工作科 学習指導案

I 題材 △空間（さんかく くうかん）

II 考察

1 題材観

(1) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

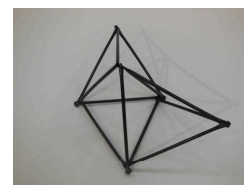
【A表現（1）イ】材料や場所などに進んでかかわり合い、それらを基に構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながらつくること。

(2) 伸ばしたい主な資質・能力

- ・同じ形が増える面白さを感じながら、同じ形を繰り返しつなげてつくる造形活動を楽しむ態度
- ・空間の奥行きに気を配って、材料がつくり出す形の配置を考える力
- ・空間の奥行きに気を配って、材料がつくり出す形の配置の仕方を工夫する力
- ・空間の奥行きを感覚的に捉えながら、空間全体のよさや美しさを感じ取る力

(3) 本題材と教材の価値

本題材では、子どもたちが上記のような資質・能力を身に付けられるよう、次のような活動を設定し、トラス構造につなげた線材を教材として取り上げた。



トラス構造につなげた線材

なお、トラス構造とは、三角形を基本形とする構造形式のことをさし、本題材では正四面体に限定した。

空間の奥行きに気を配って、正四面体をつなげてつくる活動

上記の活動及び、教材の価値は以下の通りである。

- ・ストローをホチキスで留めるという接合方法で、簡単に同じ形を増やすことができるため、同じ形が増える面白さを感じることができる。
- ・ストローでつくった正四面体は軽くて丈夫なため、立たせたり吊したりすることができ、空間の奥行きに気を配りながら、自由に配置を考えることができる。
- ・接合方法が簡単なため、配置に合わせて簡単に作り変えることができる。
- ・空間の奥行きに気を配ってつくったものを配置する活動を設定することによって、つくったものと何も置かれていない余白の空間との関係性に気付いたり、自分や友達のつくったものを含めた空間全体のよさや美しさを感じ取ったりすることができる。

(4) 関連した学習

- ・5年「風 見える化大作戦」での、風が吹く場所を見付け、場所の特徴に合った材料や用具を考えて、風の動きを可視化するものをつくる学習。

(5) 共通事項との関連

空間の奥行きに気を配ってつくる活動を通して、形や色、動きや奥行きなどを捉え、自分なりのイメージをもつ。

## 2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、5年「風 見える化大作戦」で、風が吹く場所を見付け、場所の特徴に合った材料や用具を考えて、風の動きを可視化するものをつくる学習に取り組んできた。

この学習の中で明らかになった子どもの実態及び本題材を進めるにあたっての指導方針は以下の通りである。

- ・子どもたちは、身近な材料や風の吹く場所の特徴を生かし、風を可視化する活動に楽しんで取り組むことができている。このような子どもたちに対して、ストローでつくった正四面体の特徴を生かして、空間に自由に増えていく形や、形が広がってゆく過程を楽しむ活動を設定する。
- ・子どもたちは、風を可視化する方法を思い付き、材料の形や色、動きの感じなどを基に場所の構成を考えることができている。このような子どもたちに対して、つくったものと何も置かれていない余白の空間との関係性や、自分のつくったものと友達のとつくったものとのバランスを意識して、つくったものの配置を考える活動を設定する。
- ・子どもたちは、風が吹く場所の特徴を生かしながら、つくったものの取り付け方を工夫することができる。このような子どもたちに対して、考えた配置に合わせて、立たせたり吊したりするなどの配置の仕方を工夫する活動を設定する。
- ・子どもたちは、風が見える様子を楽しみながら、感じたことを話したり、場所の雰囲気の変化を捉えたりすることができる。このような子どもたちに対して、つくったものを配置しながら、自分や友達のとつくったものを含めた空間全体のよさや美しさを感じ取る活動を設定する。

## Ⅲ 目標及び評価規準

### 1 目 標

空間の奥行きに気を配りながら、正四面体をつなげてつくる。

### 2 評価規準

- (1) 同じ形が増える面白さを感じながら、同じ形を繰り返してつくる造形活動を楽しもうとしている。
- (2) 空間の奥行きに気を配って、材料が作り出す形の配置を考えている。
- (3) 空間の奥行きに気を配って、材料が作り出す形の配置の仕方を工夫している。
- (4) 空間の奥行きを感覚的に捉えながら、空間全体のよさや美しさを感じ取っている。

## Ⅳ 学習計画（全4時間予定）

過程	学 習 活 動	時間
ふくらませる ・ねる	○同じ形が増える面白さを感じながら、正四面体をつなげてつくる。	1
あらかず あじわう	○空間の奥行きに気を配って、つくったものの配置を考えながら、 正四面体をつなげてつくる。 <b>(本時3 / 3)</b>	3



題材	△空間（さんかく くうかん） <span style="float: right;">【領域：A表現（1）】</span>			
目標	空間の奥行きに気を配りながら，正四面体をつなげてつくる。			
評価規準	(1) 同じ形が増える面白さを感じながら，同じ形を繰り返してつくる造形活動を楽しもうとしている。 (2) 空間の奥行きに気を配って，材料がつくり出す形の配置を考えている。 (3) 空間の奥行きに気を配って，材料がつくり出す形の配置の仕方を工夫している。 (4) 空間の奥行きを感覚的に捉えながら，空間全体のよさや美しさを感じ取っている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目＜評価方法（観点）＞
ふくねらませる  あらわす  あじわう・ひろげる	1	○同じ形が増える面白さを感じながら，正四面体をつなげてつくる。	○同じ形が増える面白さを感じることができるよう，ストローをホチキスで接合して正四面体をつなげてつくる活動を設定する。 ○自分や友達の感じたことを振り返ることができるように，製作途中のつくったものに，付箋紙に題名と名前を書いて貼り付け，友達と見合う活動を設定する。	◇正四面体をつなげながら，没頭してつくっている。 ＜行動（1）＞ 
	3	○空間の奥行きに気を配って，つくったものの配置を考えながら，正四面体をつなげてつくる。 <b>（本時3／3）</b>  正四面体をつなげてつくったもの   配置を考えながら，正四面体をつなげてつくっている様子	○空間の奥行きに気を配り，空間全体のよさや美しさを感じ取ることができるよう，配置を考えてつくる活動を設定する。 ○つくったものを自由に配置し，視点を変えて空間全体を見ることができるよう，白い壁で囲んだ，空間を意識する場を設定する。   空間を意識する場  ○空間全体の題名と名前を書いた小さなシールを，自分が気に入った場所に貼り付け，友達と見合う活動を設定する。	◇自分や友達のつくったものを離れて見たり，置き方や吊し方について友達に問いかけたりしている。 ＜行動・つくったもの（2）＞   ◇つくったものを様々な角度から眺めたり，友達と話し合ったりして，つくったものの置き方や吊し方に合わせて，テープを貼ったり，ひもで縛ったりしている。 ＜行動・つくったもの（3）＞   ◇つくったものが配置された空間を，様々な角度から眺めて，自分が気に入った場所を見つけてシールを貼っている。 ＜行動・発言（4）＞
共通事項	空間の奥行きに気を配ってつくる活動を通して，形や色，動きや奥行きなどを捉え，自分なりのイメージをもつ。			